

県P連だより

# 陽だまり

No.34

会長あいさつ



広島県PTA連合会  
会長 加藤 千政

## 広島県内PTA会員のみなさまへ

広島県内PTA会員のみなさまにおかれましては、日頃よりPTA活動にご理解とご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。私は6月4日の総会にて、山本和臣前会長の後任として平成23年度広島県PTA連合会会長に就任いたしました加藤千政と申します。浅学非才の身ではありますが、精一杯やりきる覚悟です。どうぞよろしくお願ひいたします。

まずは、去る3月11日の東日本大震災の発生により、私たちの大切な仲間であるPTA会員、子どもたちをはじめとする数多くの尊い命が犠牲にられましたことに、深く哀悼の祈りを捧げるとともに、被災された皆さまには一日も早い復興を心より願ひ、お見舞い申し上げます。

さて、本年度はいよいよ「第59回日本PTA全国研究大会ひろしま大会」が開催されますが、広島県PTA連合会では、未曾有の大震災に遭遇したその年に、ひろしまの地で全国大会が開催されるという意味を深く受け止めながら、「PTAとしてできること」「PTAでしかできないこと」とは何か、という視点を取り入れながら準備を進めています。

ご存知のとおり、ひろしまは原爆投下により一面が焦土となり、草木も生えぬ地と呼ばれたこともありました。しかし、絶望の淵からも草木は芽吹き、人々は立ち上がり、今では日本中・世界中から数多くの人々が訪れる平和の聖地として再生しました。その意味で、ひろしまは特別な地です。私たちには、ひろしまを訪れてくれる全国の仲間たちに、被災された方々への鎮魂と、復興に向けての元氣・勇気を届けることのできる大会として開催する責任があると感じています。

また、みなさまに向けて義援金の収集を呼びかけさせていただきましたところ、多額の義援金が寄せられました。みなさまの温かいお心に感動しました。紙面をお借りしまして感謝申し上げます。

寄せられました義援金(第1期総額約1億5千万円)は日本PTA全国協議会を通じて、すでにその一部が被災地PTA協議会に配布され、子どもたちの教育的支援に役立てられていますことを併せてご報告させていただきます。

さて、本年度の活動スローガンは「見つめよう今を、語り合おう未来、抱きしめよう心」子どもたちの笑顔のためにです。

本年度は日P全国大会開催という大事業と、震災復興支援という通年にはない取り組みで、会員のみなさまには多大なるご支援をいただいておりますが、そのお力を私たちPTAがつながり、大きく成長するチャンスに変え、そして互いに努力し、支え合い、喜び合う姿を実現することで、みなさまのご恩に報いたい。また、その姿を子どもたちに示すことで、生きる力と勇気を育みたいと、決意を新たにしています。みなさまのご支援を賜りますよう、そして多くのご意見をお寄せいただきますようお願いし、ご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## 平成23年度事業計画

### 〈スローガン〉

「見つめよう今を、  
語り合おう未来、  
抱きしめよう心」  
子どもたちの笑顔のために

### 1 基本方針

- ・自らの心、子どもをしっかりと見つめることのできる親になること
- ・笑顔で食卓を囲み、夢を語り合い、家族の絆を深めよう
- ・あなたの行動で、子どもの明るい未来を築こう

### 2 活動目標

- ・各種研修会を通して保護者としての責任感や規範意識の向上に努める。
- ・県内様々なPTA活動の紹介を通して、PTA活動の充実・活性化に努める。
- ・各種団体との連携を図り、いじめの問題や子どもの安全、教育環境の整備など、子どもをとりまく問題の解決に努める。

# 定例総会

平成23年6月4日(土) 広島ガーデンパレスにて、広島県PTA連合会定例総会を開催しました。本年度、新たな事業として、3月11日に発生した東日本大震災復興支援活動が追加されました。また、8月26日(金) 27日(土) の2

日間開催する、日本PTA全国研究大会ひろしま大会を成功させるため、県P連会長と実行委員長は兼務せず、山本実行委員長と加藤県P連会長の両輪で取り組んでいきます。約60年に1回しか回ってこない全国大会の成功に向けて、県内各都市P連全体で取り組んでいくことを確認し、総会が終了しました。

平成22年度広島県PTA連合会会計 藤井 正志

## 平成23年度全小・中学校PTA会長研修会報告

去る6月4日、広島ガーデンパレスにおいて小・中学校PTA会長研修会を開催しました。当日は県P連の総会、理事会、会長・事務局長会と、日程も詰まったなかでの会長研修会でしたが、関係者のご尽力により滞りなく、研修会を行うことが出来ました。

講師はラジオDJの山本シュウさん。(PTA活動ではレモンさん)

講演テーマは「PTA活動の役割と会長としてのありかた」、演題を「レモンさんのPTAビタシン注入トーク 『愛・本気・親戚 We are シンセキー』」として、ご講演をいただきました。

講演の開始時間と共に、会場の一番後ろからレモンの被り物をしたレモンさんが登場されました。さすがにDJらしく、テンポよく会場も巻き込みながら、さらにポイントを書きながらの講演は時間も忘れるほど面白く、時の経つのも忘れるくらいに、実際のところ時間を超過してしまいました。

レモンの被り物をしたユニークな格好をされているので「いったいこの人は」と思いつつも話が進むに従ってレモンさんのPTAに対する熱い思いや子どもに対して真剣に向き合う思いがガンガンに伝わってきました。「みーんな親戚やからほっとけん」の気持ちや、「人の話を聞かんとていう昭和のプラグがささってる」の内容は、個人的にですが強烈に心に残っていて、講演からしばらく経った今でも自分はどうなんだろうかと考えさせられています。

今回の研修会は、そのための情報を提供する研修会です。なるべく多くの会長さんに参加していただいて会長としての方向性を見つけていって欲しいと思います。

平成23年度広島県PTA連合会

副会長 赤木 俊二

ブロック		役職名		名前		所属都市P		所属学校		ブロック代表	
東部	①	会長	加藤	千政	尾道市	長	江小				
西部	③	副会長	西本	博之	東広島市	小	谷小				
西部	②	副会長	増原	和子	呉市	横	路小				
東部	②	副会長	宮上	正好	福山市	培	遠中				
東部	②	副会長	赤木	俊二	神石郡	油	木小				
西部	②	副会長	小川	政彦	呉市	三津	口小				
東部	①	母親代表	岡田	広美	尾道市	高	西中				
西部	①	理事	新矢	佳弘	大竹市	玖	波中				
西部	①	理事	谷口	桂司	廿日市市	友	和小				
西部	②	理事	向井	恵美	廿日市市	平	良小				
西部	②	理事	飴野	秀樹	江田島市	中	町小				
西部	③	理事	森川	次郎	豊田・竹原	大	崎小				
西部	③	理事	大塚	浩樹	安芸郡	府	中小				
西部	④	理事	三宅	裕子	東広島市	安芸	津中				
西部	④	理事	武本	信秋	山県郡	加	計中				
東部	①	理事	梅田	友美	山県郡	豊平	東小				
東部	①	理事	児玉	史則	安芸高田市	向	原中				
東部	①	理事	上田	隆政	三原市	南	小				
東部	①	理事	黒木	伸二	世羅郡	甲	山中				
東部	②	理事	宮本	伸也	福山市	引	野小				
東部	②	理事	西宮	晴之	府中市	上	下中				
東部	②	理事	秋山	匡美	府中市	上	下小				
東部	③	理事	足利	学	三次市	作	木中				
東部	③	理事	平田	英吉	庄原市	総	領中				
東部	③	理事	達中	久恵	三次市	君	田中				
西部①・西部②・西部③		監事	岩木	徹浩	安芸郡	府中	中央小				
東部①・東部②		監事	前川	広	福山市	福	相小				
西部④・東部③		監事	金川	佳寛	安芸高田市	向	原小				

## 広報紙コンクール審査

平成23年4月5日に、広報紙コンクール審査を行いました。県内より小学校の部31校、中学校の部18校の応募があり、「全体の編集やレイアウトおよび見出し」「PTA会員が関心を持って読みたい内容になっているか」などの5つの項目に着目し審査しました。

カラーで印刷しているものや手作業で発行しているものなど様々でしたが、どの広報紙もPTAの思いが詰まっていて、審査するのに大変苦労いたしました。次回のコンクールには、これまで以上のご応募をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



広報紙コンクール審査風景

## ■広報紙コンクール表彰校一覧

賞	小・中別	郡市P連名	学校PTA名	広報紙名
優秀賞	小学校 PTAの部	福山市	赤坂小学校PTA	広報あかさか
		福山市	幕山小学校PTA	幕山小PTA便り
		東広島市	川上小学校PTA	かわかみ
		尾道市	高須小学校PTA	たかすっ子
		大竹市	大竹小学校PTA	園の笛
		福山市	本郷小学校PTA	ほんごう
	中学校 PTAの部	三原市	宮浦中学校PTA	みやうら
		福山市	福山中・高等学校PTA	あゆみ
		尾道市	長江中学校育友会	育友会便り
		尾道市	栗原中学校PTA	会報栗中
会長特別賞		呉市	白岳小学校PTA	しらたけ

## 第59回日本PTA 全国研究大会ひろしま大会

来る8月26日(金)と27日(土)

の両日、いよいよPTA全国大会が本番を迎えます。この県P連だよりが発行される頃には、すでにお申し込みが完了していることでしょう。未曾有の大震災の発生で、この大会を開催すべきか否か、さまざま

なご意見が寄せられました。実行委員会も悩みましたが、大きな決断に至った理由の一つに、「私たちは必ず広島に行きます。それは、被爆から復興した広島を訪れることによつて、私たちの勇気にしたいからです」と、東北ブロック協議会の方から声掛けを頂いたことがありました。

私たちは東北地方の方から、逆に元氣と勇気を分けていただいたように思います。その結果、今まで以上に大会開催の意義を深く掘り下げ、広島の地から日本に元氣と勇気を発信しようという気持ちで本番を迎えようとしています。

また、県内PTA会員のみならずから寄せられた「書き損じはがき」「広告協賛金」は、大会運営を資金面で応援していただいているだけでなく、みなさまからの熱い思いを強く感じる事ができました。紙面をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

ます。

27日に開催されます全体会では、そのフィナーレで杉本竜一さん作曲・作詞の「Believe」を子どもたちと、全国から集ったPTAの仲間全員で合唱することになりました。これは、私たちPTAが全員仲間だという思い、子どもたちの未来を笑顔で満たそうという決意、そして大震災で犠牲になられた方々への哀悼の意と、被災された方々への応援メッセージです。ぜひとも大きな声で私たちの思いを届けましょう。

大会開催まで残りあとわずかとなりました。実行委員会・分科会・全体会・すべてのスタッフが最後の力をふりしぼって頑張ります。みなさまの元氣を持ち寄っていただき、会場でお会いしましょう！



PTA 2011 HIROSHIMA

大会シンボルマーク モーミー

# 鐘

皆さんは、子どもたちに「夢を持って」なんてよく言っていますが、自分自身（親）は、今どんな夢や目標を持っていますか？ またその夢や目標に向かって何か行動していますか？

気づけば子どもや他人のことは良く見えますが、自分のことは見えな  
いことがありますよね。

私たちは親は、子どもには自分自身の経験・体験から「こうしなさい、あししなさい」と結構口うるさく言っていることありませんか？ 見方を変えてみれば、親が叶わなかった夢を子どもに託しているのかもしれない。

これは、決して悪いことではありません。親としてはそう思うからです。でも、子どもの目線から見たらどうでしょうか？ 子どもは親が思う以上に親の言動を見ていますよ。親の望む理想的な子どもに育てるには、自分自身が行動し、親の背中を見せることが、何より説得力があります。

私たちが何かに向かって一歩踏み出して見ましょう。チャレンジしてみましよう。失敗してもいいじゃないですか、そこには努力した足跡が残ります。

やらずに「やれば良かった」と思う人生より、やって失敗でも次の成功につながる一歩かもしれない。そんな大人の後ろ姿を子どもたちに見せてはどうでしょうか。

遠回りのように以外にそうでないかも…。  
(岩ちゃん)



平成22年度 公聴・広報委員会のみなさん

## 編集後記

No.34号を無事発行することが出来ました。これまでたくさんの方々へ支えて頂きました。子どもがいなければ出会うことのなかった人生：PTA活動を通じて県内各地の素晴らしい仲間達と出会うことが出来ました。本当に感謝しています。ありがとうございます。

平成23年度広島県PTA連合会、加藤船長率いる24名のクルーを乗せて出航しました。仲間を信じ、支え合えばどんな大海原も乗り越えて行くでしょう。私も信じています。未来ある広島県の全ての子どもたちが、元気で明るく育っていくことを…子どもたちの笑顔のために…

**充実の補償で  
お子様を  
サポートします**

●誤って他人のものを壊したり、他人にケガをさせてしまったら…  
(加害事故の補償)

インターンシップ（職場体験）やアルバイトに起因する賠償責任も対象となります。

●授業中やクラブ活動など、校内外を問わず発生する急激かつ偶然な外来の事故によるケガや病気\*の補償

\*病気入院補償はWプランのみ対象です。



**団体割引適用で  
割安な保険料！**

(注)動産総合保険(携行品一式特約付帯)には、団体割引による割引は適用しません。  
スクールメディカルデスク24でお子様の健康相談を24時間受付

●学校管理下中の学用品・身の回り品などの補償  
●育英費用 等

充実の補償でお子様をサポートします。  
**広島県PTA連合会  
小・中学生総合保障制度**



小・中学生総合保障制度はこども総合保険・動産総合保険(携行品一式特約付帯・学校管理下中のみ担保)のペットネームです。この広告は「広島県PTA連合会小・中学生総合保障制度」の概要について紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読み下さい。詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点がありましたら取扱代理店・引受保険会社までお問合せください。この保険契約は、以下の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。  
平成23年7月作成 募文No11-T-03025



引受幹事保険会社  
**東京海上日動火災保険株式会社**

お問い合わせ先・取扱代理店：(株)東海日動パートナーズ広島  
保険会社：東京海上日動火災保険株式会社 広島支店 広島中央支社  
TEL：0120-018-217  
TEL：082-511-9194

共同引受保険会社  
**あいおいニッセイ同和損保**  
MS&AD INSURANCE GROUP  
共同引受保険会社  
**MS&AD 三井住友海上火災保険株式会社**